

歴史のなかの 感覚変容

主催 立命館大学国際言語文化研究所

▶ 第1回 10月7日(金)

音声をめぐる感覚変容 —《声》の政治史・《音》の社会史

報告者/東 琢磨(音楽評論家)
コメンテーター/鈴木 慎一郎(関西学院大学)
コーディネーター/西 成彦(立命館大学)

▶ 第2回 10月14日(金)

マンガの《^{いま}現在》につながる道 —マンガ・リテラシーの形成と変容

報告者/吉村 和真(京都国際マンガミュージアム/京都精華大学)
コーディネーター/崎山 政毅(立命館大学)

▶ 第3回 10月21日(金)

恋愛小説と映画をめぐる感覚変容 —日韓台の帝国/植民地近代

報告者/李文茹(台湾 淡江大学)/大西 仁(台湾 東海大学)/梁仁實(岩手大学)
コーディネーター/池内 靖子(立命館大学)

▶ 第4回 10月28日(金)

グローバル化のなかのビデオゲーム

企画連携/立命館大学ゲーム研究センター
報告者/ヤッコ・ヘイッキ・スオミネン(フィンランド トゥルク大学)
コメンテーター/天野圭二(星城大学)
コーディネーター/吉田 寛(立命館大学)



2011年 10月 7・14・21・28日 毎週 金曜日

開場 17:00 開催 17:30~19:30

立命館大学衣笠キャンパス
末川記念会館 第3会議室

参加費・事前申込不要

歴史のなかの感覚変容

私たちがものごとを受け取る仕方を考えてみましょう。たとえば花の香り(嗅覚)、映画の登場人物の動き(視覚)、声や音楽(聴覚)…。それぞれが日常のなかにあって、私たちの五感を刺激し、生活をつくりあげる大切な要素であることは間違いありません。さまざまな感覚は、人間の文化を織り上げる不可欠な経緯(たていと・よこいと)の間です。

しかし、それらの感覚はいつの時代であっても変わらない、万古不易なものなのでしょうか? そうではありません。

たとえばラジオをとりあげてみましょう。無線電信の発明家でありノーベル物理学賞受賞者としても有名なイタリアのグリエルモ・マルコーニは、無線を改良版の電話のような「ただのメッセージ伝達器」としてではなく、活力をそなえた音声を遙か彼方に届かせる「革命的な機械」として構想しました。そして1915年に彼がおこなった実験は、大西洋を越えて(つまりトランスアトランティックに)大陸同士を結びあうラジオ放送の先駆けとなったのです。

その反響は途轍もないものでした。そこに箱型の機械しかないにもかかわらず、まるで目の前に人がいるかのように、その機械からヴィヴィッドな声が発せられるのですから。「ラジオに耳を傾ける」という、まったく新たな文化的仕種がもたらす、それまでとはまったく異なる感覚の経験がこうして生み出されました。

これは一例にすぎませんが、歴史のなかで感覚は何度も変化を被ってきているのです。

立命館大学国際言語文化研究所の連続講座《グローバル・ヒストリーズ》第2シリーズでは、上記のような歴史的な展開が引き起こす新しい感覚の問題 — 歴史のなかの感覚変容 — に学知の側からアプローチしてみようと考えています。

とりあげる対象は、音・声・演説、マンガを含めたヴィジュアル・アート、映画と恋愛の関連をめぐる感じ方、そして日々進化するゲームの感覚連合的な刺激の広がり、の4つです。

「私たちの感覚が歴史の動きのさなかにある」というかけがえのない事実を、ぜひ出来事として、そして同時に学問として、感じ取ってみてください。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

第1回

10月7日(金) 17:30~19:30

音声をめぐる感覚変容 — 《声》の政治史・《音》の社会史

報告者/ 東 琢磨 (音楽評論家)
コメンテーター/ 鈴木慎一郎 (関西学院大学)
コーディネーター/ 西 成彦 (立命館大学)

第2回

10月14日(金) 17:30~19:30

マンガの《現在》につながる道 — マンガ・リテラシーの形成と変容

報告者/ 吉村和真 (京都国際マンガミュージアム/京都精華大学)
コーディネーター/ 崎山政毅 (立命館大学)

第3回

10月21日(金) 17:30~19:30

恋愛小説と映画をめぐる感覚変容 — 日韓台の帝国/植民地近代

報告者/ 李文茹 (台湾 淡江大学)
大西 仁 (台湾 東海大学)
梁 仁 實 (岩手大学)
コーディネーター/ 池内靖子 (立命館大学)

第4回

10月28日(金) 17:30~19:30

グローバル化のなかのビデオゲーム

企画連携/ 立命館大学ゲーム研究センター
報告者/ ヤッコ・ヘイッキ・スオミネン (フィンランドトゥルク大学)
コメンテーター/ 天野圭二 (星城大学)
コーディネーター/ 吉田 寛 (立命館大学)



アクセス

立命館大学 衣笠キャンパス

- JR・近鉄 京都駅より 市バス50・205
- JR 円町駅より 市バス15・204・205
- 阪急電車 西院駅より 市バス205
- 阪急電車 大宮駅より 市バス55
- 地下鉄 西大路御池駅より 市バス205
- 京阪電車 三条駅より 市バス15・59
- 市バス15・50・55・59にて「立命館大学前」下車/徒歩5分
- 市バス204・205にて「衣笠校前」下車/徒歩10分 東門



お問合せ先

立命館大学国際言語文化研究所 TEL: 075-465-8164 E-mail: genbun@st.ritsumei.ac.jp
URL: http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-rsc/lcs/lcs_index.htm